

文部科学省 COC+事業とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム

事業のポイント

- 本学が申請校となり、平成27年度に採択された地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」の推進を進めている。
- 本学における教育カリキュラムの改革、及び関連団体との連携事業を通して、県内の高等教育機関における県内就職率を5年間で10%増加させることを目指す。

事業の概要

1.事業の目的

日本が直面する最重要課題は地方の人口減少問題の克服であり、そのためには地方に雇用を創出して地方への人の流れを作り、「東京一極集中」の是正に取り組む必要がある。地方国立大学は、地方における知の拠点として産学官の力を結集した地域の産業振興・雇用創出や、地域の高等教育機関との連携による地域が求める人材育成の中核としての使命を果たさなければならない(平成26年11月「まち・ひと・しごと創生法」、同12月「長期ビジョン」「総合戦略」閣議決定)。

そこで、平成27年度に採択された地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」の推進により、県内の高等教育機関における県内就職率を5年間で10%の増加を図る。

2.事業の取組状況

【本学における教育カリキュラムの改革】

徳島県内に就職して地域の産業振興と課題解決に積極的に参画する「元気印イノベーション人材」を育成するために、必要となる能力と確信を付与する教育カリキュラム「とくしま元気印イノベーター教育プログラム」の開発・実施を進めている。

具体的には、地域と主体的に関わるための教育「ボランティア・パスポート」、入学者全員が履修する「地域理解のための教育科目」、専門分野の知識・理解を深める「専門教育プログラム」、職業人意識とコミュニケーション力を育成する「寺子屋式インターンシップ」等のプログラムを開発し、平成28年度以降に入学する学生の履修体制を整えた。所定の単位を取得したプログラム修了生に学長名

事業代表者・連絡先

COCプラス推進本部
〒770-8502 徳島市南常三島町1-1 (研究・社会連携部地域創生課内)
tel-fax: 088-656-9910
e-mail: coc-plus@ml.tokushima-u.ac.jp

の修了証を授与することにより、県内企業等への就職活動に役立つよう、制度の構築に向けた検討を行っている。

①ボランティア・パスポート

新規科目の「ボランティア・パスポート入門」を開講した。学生が主体的に地域と関わり、地域の課題に挑戦する仕組みとして、学生にボランティア・パスポートを配布し、ボランティア活動の記録を残す。記録を集めることは単位取得の要件であるが、加えて40時間従事する毎にパスポートの色が変化(写真1)し、段階的に学長や徳島県知事の



(写真1)パスポートの3段階変化

表彰が受けられることで、以降の学生の活動を動機付ける。平成28年度は120人の学生が履修した。

②地域理解のための教育科目

教養教育科目の地域科学教育科目群の14科目と、地域志向科目として選んだ地域科学教育科目群以外の科目群の中の13科目、医学部、歯学部、薬学部の専門科目の中の各1科目を、「地域理解のための教育科目」として設定し、入学者全員が「地域の文化や、地域への理解・愛着を深める」ための履修体制を整えた。

③専門教育プログラム

徳島県で新たな雇用創出と学生の就職率の向上が期待される4つの分野(次世代技術関連、地域医療・福祉関連、6次産業化関連、地域づくり・観光・ICT関連)を設定。

全ての学部において、各学部のカリキュラムの中から、対応する分野に必要な専門分野の知識・理解に関わる科目をパッケージとして編成した。

④寺子屋式インターンシップ

事前学習からインターンシップ、事後の振り返りまで「課題・レポート・ディスカッション」を繰り返す「寺子屋式指導法」によるインターンシップの試行として、学生が30日間に渡って企業等の経営課題に挑戦する「実践力養成型インターンシップ」を実施。35名の学生が7つの課題に取り組んだ(写真2)。

平成29年度には教養教育科目の中に「実践力養成型インターンシップ」を開講するなど、医学部、歯学部、薬学部の一部の学科については地域において実践的に専門の学びに取り組む科目を編成する。

【関連団体との連携事業】

①協働授業の導入に向けた特別セミナーの実施

平成29年度からの協働授業の開講に向けて、四国大学、徳島大学、徳島文理大学にサテライト配信し、各大学の学生が受講するセミナー「徳島の魅力、徳島で働く」を11月23日に開催(参加者70名)した。



(写真2)インターンシップ最終報告会

②学生、保護者向け企業ガイダンスの実施

県内企業への就職について、学生と保護者の理解を深めるため、県内企業11社による企業ガイダンスを12月18日に実施(参加者120名)した(写真3)。

③FD地域人材育成フェスタの実施

教育における地域との連携の成果と課題の報告と、さらなる事業推進に向けた情報交換を図り、学生と教員、企業

等が共に学ぶFD地域人材育成フェスタを2月19日に開催(参加者95名)した。

3.事業実施による成果と今後の展開

【本学における教育カリキュラムの改革】

対象となる全学部学生について、全学生が「地域理解のための教育科目」を履修し、希望する学生が「とくしま元気印イノベーター教育プログラム」を履修する体制が整った。

今後は、本教育プログラムの実施状況の評価、改善を図るCOCプラスFD委員会を運営する中で、各種プログラムの連携や学習の振り返り、企業担当者を交えたインターンシップの効果を高めるための協議等、より効果的な教育手法の開発を進めると同時に、教員間で取組を共有し、授業改善に活用される体制の整備を進める。

【関連団体との連携事業】

特別セミナー、企業ガイダンス、FD地域人材育成フェスタ等の事業を開始したことにより、事業協働機関が連携して県内就職率を増加させる事業の枠組みが整い、方針が共有された。

今後、各種事業において事業協働機関それぞれの役割を整理し、効率的で持続可能な連携事業の運営体制の整備に向けて協議を進めることとしている。



(写真3)学生、保護者向け企業ガイダンス